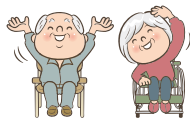




ラッキーバッグ健康教室紹介

ラッキーバッグ各店舗で行った健康教室をご紹介します。



日時 2025年5月22日(木)
場所 舟形調剤薬局(舟形町)
内容 百歳体操、
多剤服用とかかりつけ薬局について

▶ 舟形調剤薬局では百歳体操後に多剤服用とかかりつけ薬局についてお話させていただきました。

高齢になると病院を複数受診される方が増え、それに伴い薬の量が増えていきます。薬が増えることでお薬の飲み間違いや過量服用、副作用が起きる可能性が高くなり、体に悪い影響を与えることがあります。もしかしたら体調が悪いのは年のせいではなく、薬を必要以上に飲んでいるからかもしれません。お薬の飲み間違いや過量服用、副作用をなくするためにはかかりつけ薬局を決めることです。

かかりつけ薬局とはお薬をもらう薬局を一つに決め、複数の病院の薬を一つの薬局で管理することで薬の飲み合わせや重複を防ぐことができます。一つの薬局に決めることで必要以上に薬を飲むことが減り、安全にお薬を飲むことができます。

「わたし飲んでいる薬の量が多いかもしれない。」を感じたらかかりつけ薬局を決め、薬の整理をしてもらいましょう。講話後に健康相談、お薬相談をさせていただきました。お薬手帳を見せていただくと複数の病院を通院されている方が多く、病院の目の前の薬局を利用されました。かかりつけ薬局のお話をすると「舟形の薬局でもらおうかしら。」「私は舟形の薬局がかかりつけです。」などありがたいお言葉をいただきました。また、普段薬局で聞けないことやお薬の飲み方や副作用、飲み合わせについてたくさんお話を聞かせていただきました。舟形調剤薬局は舟形町に一つしかない薬局で舟形町民のお薬や健康についてサポートしています。他の薬局でもらっている薬や健康についていつでも相談に乗りますので気軽に足を運んでください。お待ちしております。

新庄警察署(山形県警察)からの

おねがい



SNSの投資話、甘い言葉に要注意!
絶対に応じず、詐欺を見抜こう!



けんこう福袋



2025

9月

第78号

多職種連携、地域包括ケアシステムにおける薬剤師とは

皆さんは多職種連携という言葉をご存知でしょうか。厚生労働省では「要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築」を推進しています。しかし、日本では高齢化が進み医療ニーズが多様化しており、当然、一つの専門職が多様なニーズに対応することは難しいです。そこで必要なことが多職種連携です。多職種

連携とは、患者様のニーズに合わせた適切な医療・介護を提供するために、医師、看護師、薬剤師、栄養士、ケアマネジャー、様々な専門職が専門性を発揮して連携することなのです。では、多職種連携における薬剤師の役割とは何でしょうか。

年齢を重ねていくと、飲んでいる薬の数が段々と多くなっていくかと思えます。薬の数が多くなってくると、飲み合わせが不安になったり、薬の管理が大変になったりし

ませんか。そんな時薬剤師は、薬の飲み合わせを確認したり、薬の管理をサポートすることができます。また、患者様や他職種から得た情報をもとに、必要に応じて薬の内容の変更や数を減らす提案を行います。

それにより患者様に適切な医療を提供するだけでなく、看護師や介護者の負担を軽減することができます。皆さんが

抱える薬に関する問題点を解決することが、薬剤師の大きな役割です。

地域包括ケアシステムを構築するために多職種連携が必要ですが、地域包括ケアシステムでの薬剤師の役割として薬以外で大切なことがあります。それは、医療・介護の窓口としての役割です。健康、栄養、介護等の相談が気軽にできる身近な存在が薬剤師だと思います。相談を受け、その場で回答するだけでなく、医療機関やケアマネジャーに繋ぐといったことも行い、病気の予防、健康維持をサポートいたします。

何か相談事があれば、かかりつけの薬局・薬剤師にぜひご相談ください。



温もりの薬局

ラッキーバッグ株式会社



店舗案内



Instagram



Warm Pharmacy

LUCKY BAG

温もりの薬局 ラッキーバッグ株式会社

〒996-0021 山形県新庄市常葉町1-32 TEL. 0233-29-8177